

音楽表現研究室（細田淳子先生）

▶細田先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

音楽表現のさまざまな分野に興味を持ち、今まで研究を進めてきました。例えば本学のナースリールームの乳幼児を観察して、「歌い始めと言葉の獲得はどちらが先か？」を調べたり、付属幼稚園の子どもたち一人一人に歌ってもらい、「3歳児、4歳児、5歳児の声域」を調査したり、オルフ音楽教育のドイツ語の文献と向き合ったり、そのテーマは多くて数え切れません。

▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

音楽表現のゼミでは全員に卒業論文の作成を課しています。論文テーマは、子どもと音楽表現にかかわるものであれば何でも指導可能です。研究室に過去の学生の書いた論文が並んでいますので、いつでも読みに来ることができます。

論文作成方法ですが、主に文献研究で資料に丁寧に当たり書き進めていきます。時には将来保育者となるクラスの仲間にアンケート調査をしたり、ゼミの卒業生名簿のアドレスを使って先輩方の声を聴いたりすることもあります。

前期の間は毎週集まり、お互いの文章を直し合い、意見交換をして学び合いますが、後期になると個別に相談にのり、指導していきます。そして11月中の（学生たちが決めた）仮提出の日に、論文を受け取ったら、本人と一緒に論文を読みながら個別指導をします。その後学生はそれぞれ、ゆっくり読んでくれる人を探して依頼し、「第三者の目」を通してもらい、自分も同時に読んで、誤字脱字がないか最終確認し、仕上げます。年内に「本提出」が目標です。



▶4年生のゼミ生からの声：どんなゼミですか？

- ・3年次のゼミでは、手遊びのアレンジ、手作り楽器の制作、絵本に音を付ける活動、空き缶に水を入れて音階を作って演奏、オルフ木琴の合奏などの実践を多く行い、それが楽しくて4年次もそのまま細田ゼミを申し込みました。
- ・音楽が好きな人はこのゼミに入ったらとても楽しく色々学べます！
- ・卒論の内容も幅広く、歌、楽器、テレビ番組など子どもと音楽に関することなら何でも見てもらえます！
- ・ゼミの人数が少ないため、学生同士仲良くなれ、先生との距離も近くアットホームな雰囲気です。音楽に興味がある人はオススメです！

